

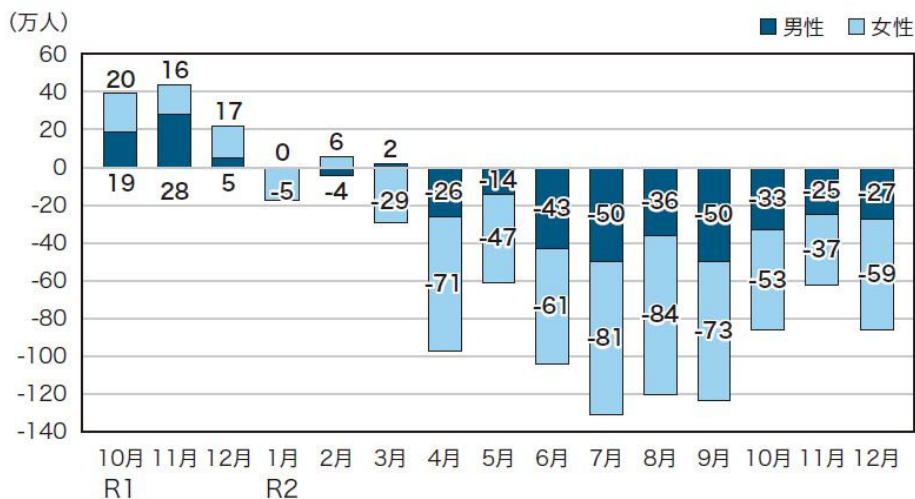
■ 大学卒程度等採用試験 第二次試験論文の出題

年度	区分	テーマ
R5	事務・学校事務	近年、気候変動に伴う風水害等の激甚・頻発化や、多くの被害が想定される大規模地震発生の切迫など、自然災害に対するリスクは年々高まっています。こうした状況の中でも、持続可能な都市として発展し続けるため、横浜市では災害から人命と社会経済活動を守る安全な都市の実現に向けて、地域防災力の向上など防災・減災と強靱化の取組を総合的・継続的に進めています。 市民一人ひとりに「自らの命は自らで守る」防災意識の浸透を図るための取組を進めるため、横浜市職員としてどのように取り組んでいきたいか、あなたの考えを述べなさい。
R4	学校事務	学校現場においてICTを有効に活用していくために、必要なことは何か、また、そのために学校における事務の専門職としてどのように取り組んでいきたいか、あなたの考えを述べなさい。
R3	学校事務	横浜市では豊かな教育環境の整備を進めています。あなたが考える豊かな教育環境とはどのようなものか、また、その実現のために、学校における事務の専門職として取り組むべきことは何か、述べなさい。

※ 令和4年度及び令和3年度の事務については次ページ以降に掲載しています。

次の2つの資料から、性別にかかわらず誰もが個性と能力を発揮し、活躍できる社会の実現のために、あなたが考える課題及び横浜市が進めるべき具体的な取組を述べなさい。

<資料1>雇用状況悪化に伴う「非正規雇用労働者数」の前年同月比（全国）

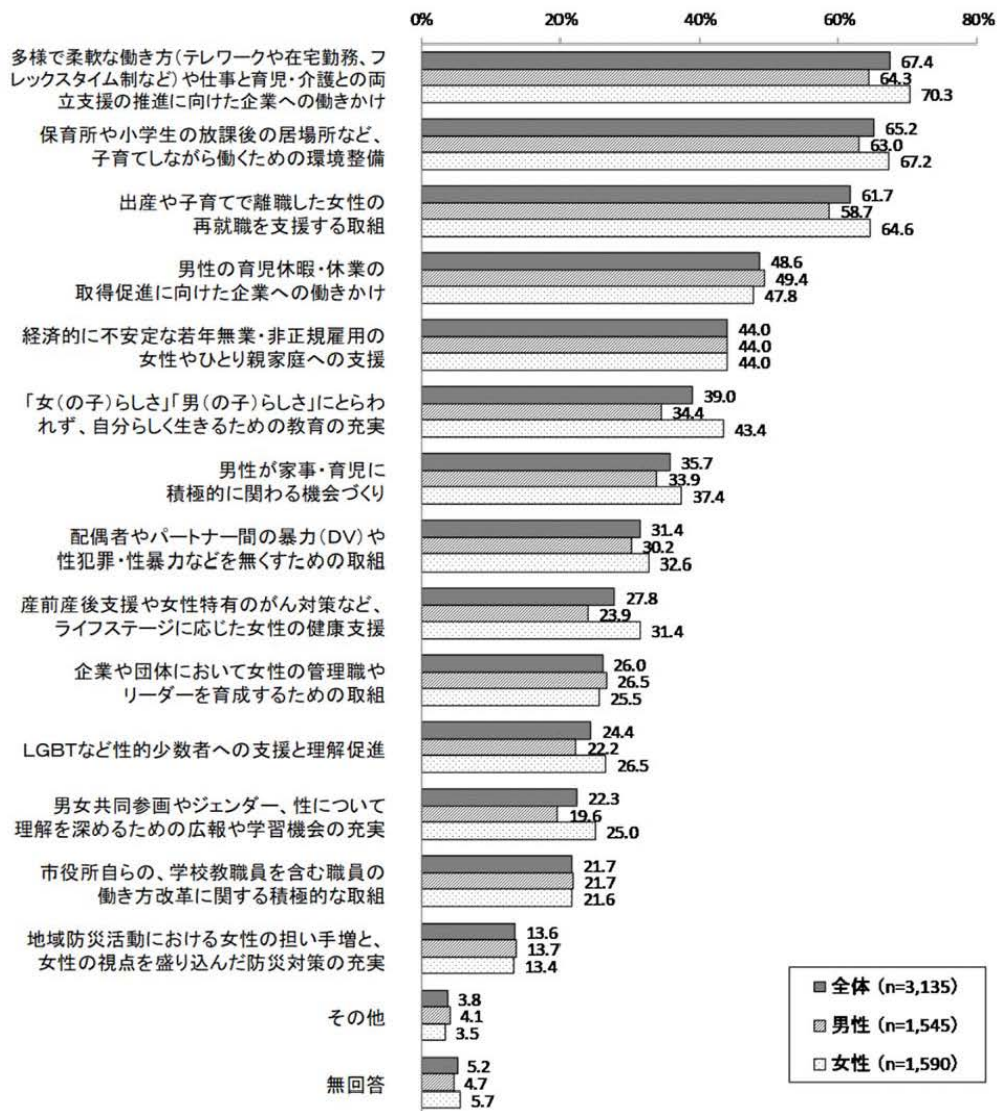


【「第5次横浜市男女共同参画行動計画」より作成】

(次ページあり)

＜資料2＞男女共同参画社会の実現に向けて重点的に取り組むべきこと

質問：あなたは、男女共同参画社会の実現に向けて、横浜市が重点をおいて取り組むべきと思うものは、どのようなことですか。（〇はいくつでも）



【「令和2年度 男女共同参画に関する市民意識調査 概要版」より作成】

【参考】

- ・調査対象者 無作為に抽出した横浜市内在住者（18歳以上）
- ・調査方法 郵送配付、郵送回収
- ・調査時期 令和2年5月23日～6月12日

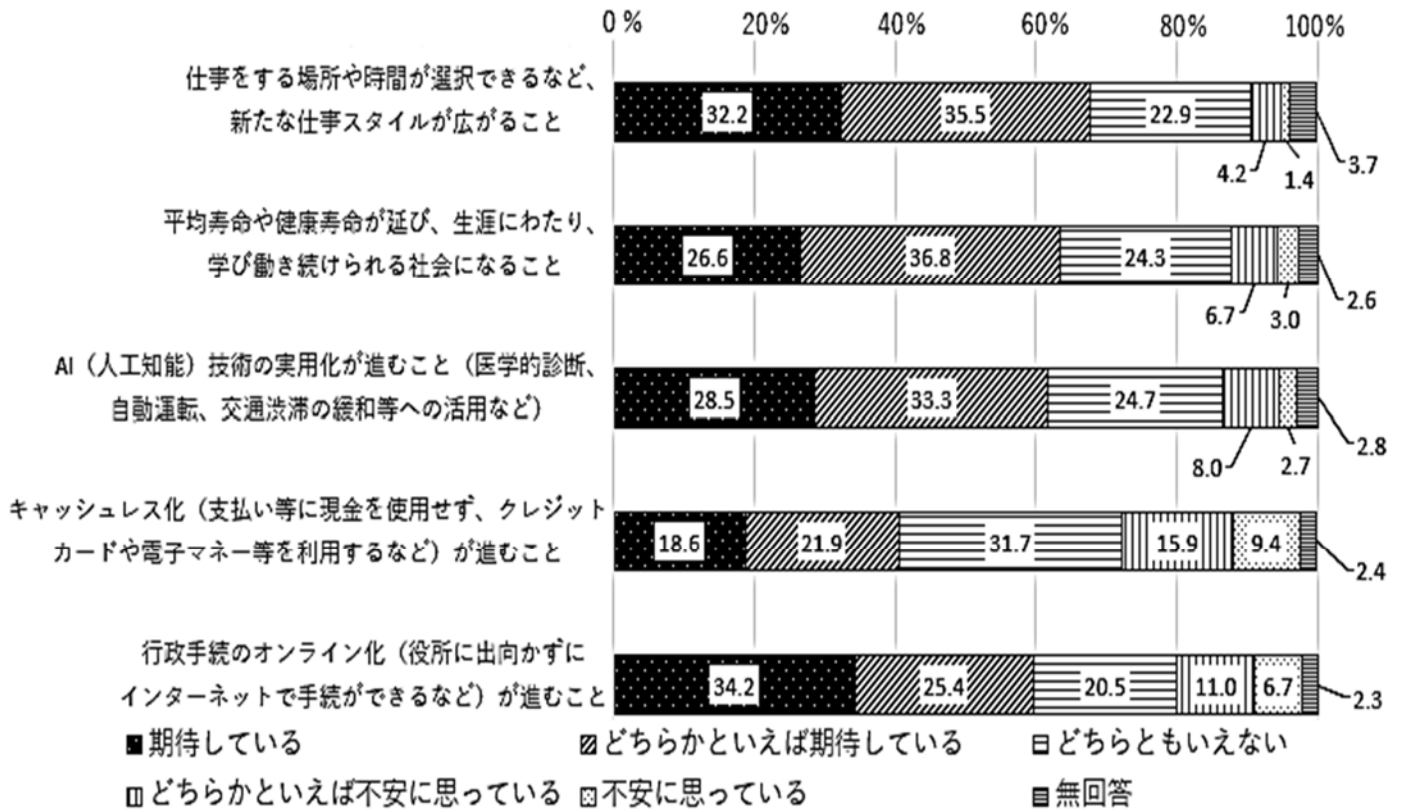
# 令和3年度事務区分

新しい生活様式が浸透しつつある中で、次の2つの資料から、横浜市の持続的な成長・発展を実現するために、あなたが重要と考える横浜市の課題及びその背景を簡潔に述べなさい。

また、課題に対して横浜市が進めるべき具体的な取組及びその効果を述べなさい。

## <資料1>生活を取り巻く環境の変化への期待・不安

質問：私たちの生活を取り巻く環境は、今後、様々に変化していくと言われていますが、あなたは次の変化について、期待をしていますか。それとも、不安に思っていますか。  
(○はそれぞれ1つ)



n=2,627

【「令和2年度横浜市民意識調査」より作成】

### 【表記について】

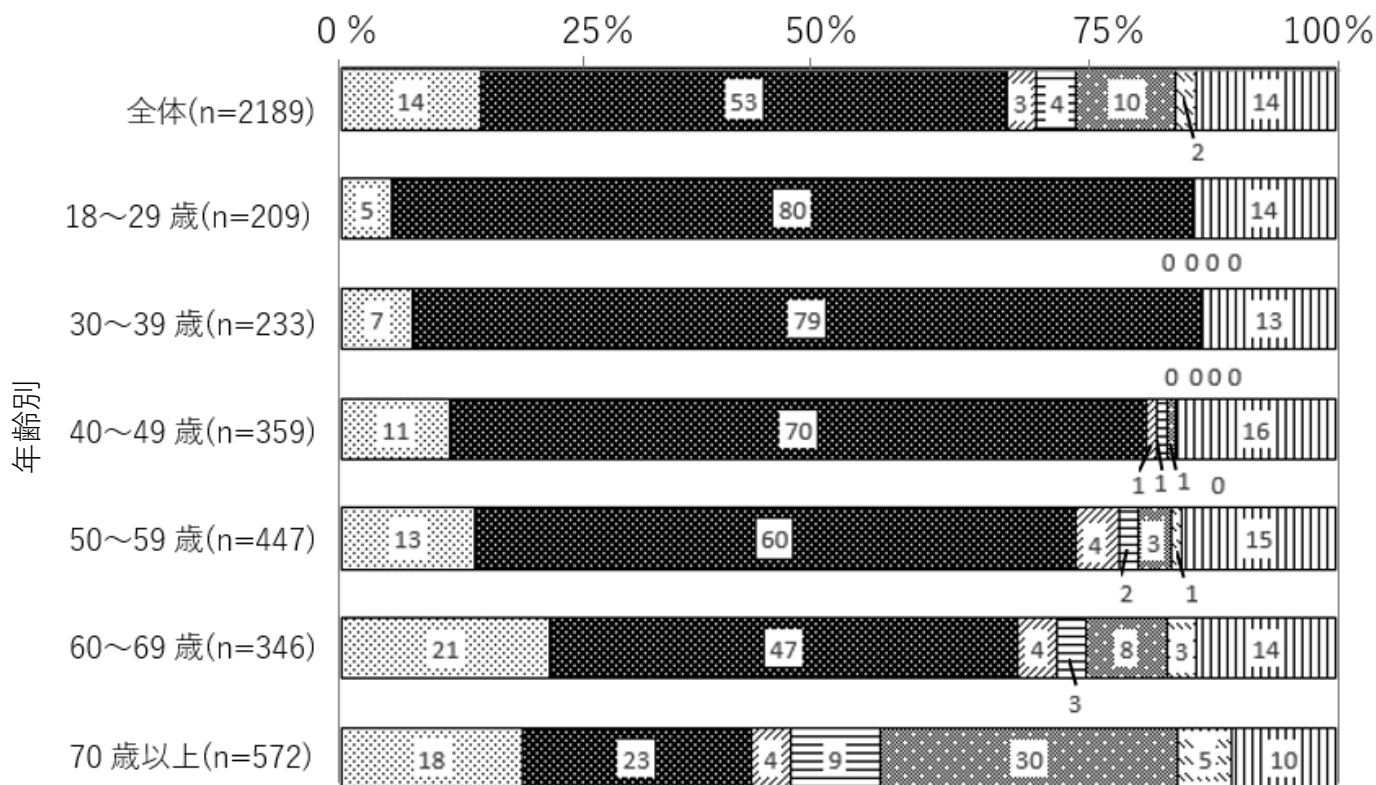
百分比は小数第2位を四捨五入して小数第1位まで示している。このため、内訳の合計が100.0%に満たない場合や、上回る場合がある。

### 【参考】

- ・ 調査対象者 無作為に抽出した横浜市内在住者（18歳以上）
- ・ 調査方法 郵送配付、郵送回収又はインターネット回収
- ・ 調査時期 令和2年10月8日～10月27日

<資料2>最も使う情報端末

質問：普段、情報を得るときにパソコンやスマートフォンなどの端末を使いますか。



- パソコン
- スマートフォン
- タブレット
- 端末を持っているが、情報を得るためには使っていない
- 端末を持っていない
- その他
- 無回答

※上記の棒グラフは、左から【パソコン】【スマートフォン】【タブレット】  
【端末を持っているが、情報を得るためには使っていない】【端末を持っていない】  
【その他】【無回答】の順で割合(%)を表示。

【表記について】

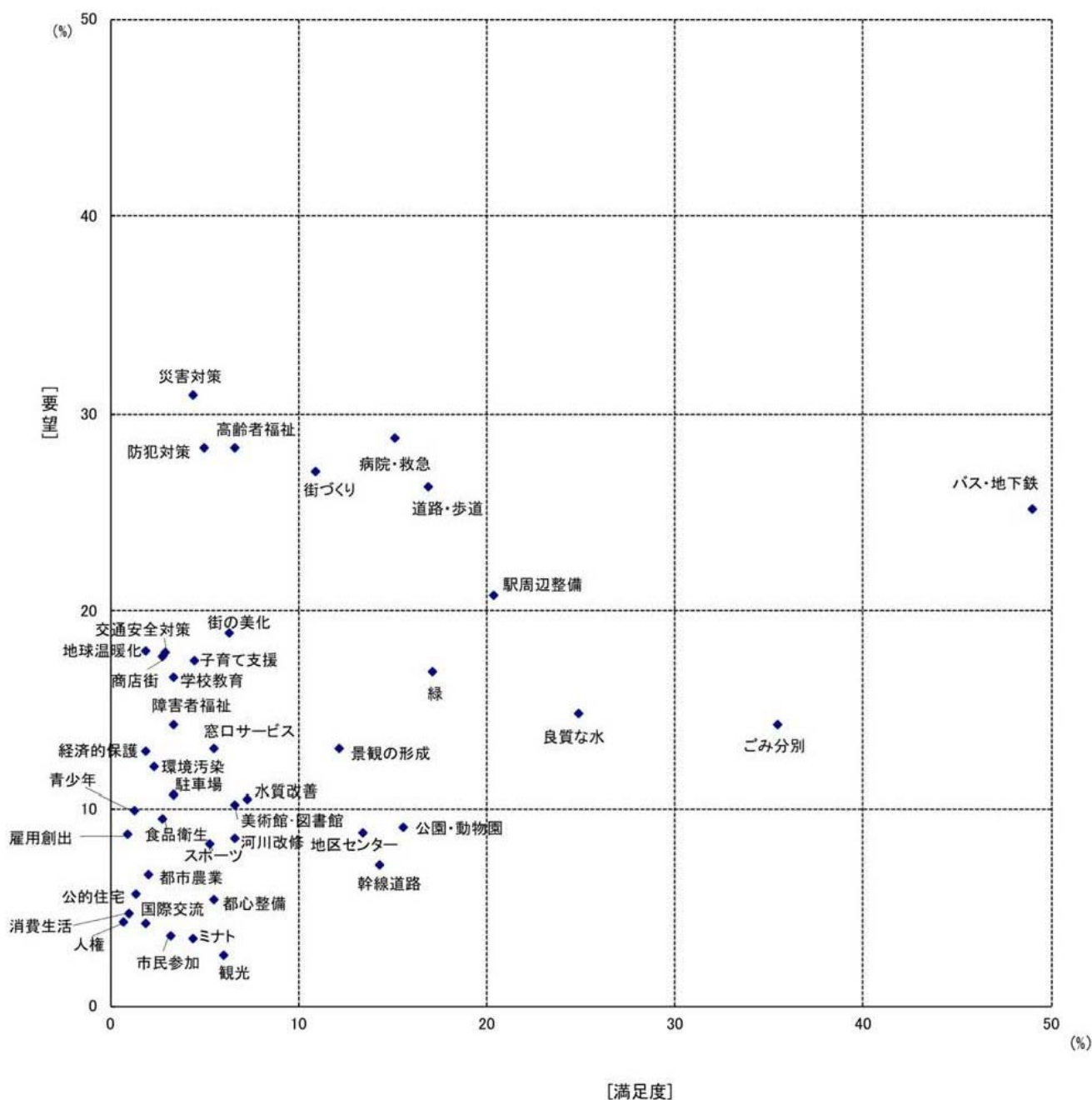
報告書では、アンケート回答の集計結果(割合%)を小数点以下第一位の四捨五入により整数値として表記しているが、グラフ作成に使用している集計結果は小数点以下を持ったデータとして処理をしている。このため、同じ整数値であってもグラフ面積や長さが異なっていたり、合算値が100とならない箇所がある。  
また、全体(n=2189)には年齢無回答者の回答も含むため、年齢別回答者数の合計とは一致しない。

【「令和2年度横浜市の広報に関するアンケート調査結果報告書」より作成】

【参考】

- ・ 調査対象者 無作為に抽出した横浜市内在住者(18歳以上)
- ・ 調査方法 郵送配付、郵送回収
- ・ 調査時期 令和2年11月6日～12月10日

〈資料2〉満足している公共サービス（満足度）と今後、充実すべきだと思う公共サービス（要望）  
 （いずれも複数回答可）



【参考1】調査の概要

- ・調査対象 横浜市内に居住する満18歳以上の男女個人
- ・標本数 3,200 標本
- ・回収分析標本数 2,052 標本
- ・抽出方法 住民基本台帳をフレームとし、日本人は層化二段無作為抽出法、外国籍市民は単純無作為抽出法
- ・調査方法 郵送留置、訪問回収（調査票を郵送し、後日、調査員による個別訪問を行い、調査票を回収する。）
- ・調査時期 令和元年5月24日～6月10日